

# 千代田区 いきいき健康マーじゃん 交流祭

高齢者福祉と健康を考える

2016年11月13日、「第2回千代田区いきいき健康マーじゃん交流祭」が、ホテルグランドパレスにおいて、千代田区民88名の参加者を迎え盛大に開催された。協会は前年度に引き続きこのイベントの積極的な推進と運営の任を担った。主催は日頃より協力関係にある千代田区社会福祉協議会、後援が千代田区。自治体が主催する健康マーじゃん大会として、各方面で高く評価され注目されている。

健康マーじゃんを通じて高齢者福祉と健康を考える、というのが、このイベントの趣旨である。会場には、これまでの健康マーじゃんの活動を示す展示ブースが設けられており、健康マーじゃんの催しであることをことさら印象づけていた。

田邊恵三会長は、このイベントの主催者である千代田区社会福祉協議会の会長でもあり、主催者を代表してあいさつされた。つづいて来賓者として石川雅巳・千代田区長、戸張孝次郎・千代田区議会議長があいさつされた。(別掲参照)

選手宣誓は御年86歳の角田実さんが行った。

参加者の中で最高齢である。

競技は半チャン3回戦、ウエルネスルールの仕組みを採用した。満貫賞はアガった人ばかりでなく放銃者も貰えるサービスぶりに和気あいの光景が見られた。

表彰の壇上に立ったのは、優勝・中村豊さん、準優勝・宮田てる子さん、第3位・鈴木忠雄さんだった。

大会では、お昼休み後参加者全員で「千代田区民体操」を行うなど、地元体操関係の人たちの協力があった。



東京・九段下のホテルグランドパレスの大ホールを埋め尽くした千代田区在住の健康マーじゃん愛好者たち



右より田邊会長、準優勝の宮田さん、優勝の中村さん、3位の鈴木さん、石川・千代田区長

**〈挨拶要旨〉 千代田区議会議員 戸張孝次郎**  
我が国は、世界に例のないスピードで高齢化が進み(中略)、世界一の長寿国となりました。長寿社会は、高齢者だけに限らず、すべての世代の人々が、長寿という新たな社会を生きることを意味しており、今後の人生設計をどうしていくか、という大きな課題があります。こころした状況を踏まえ、この「交流祭」は、「介護予防と仲間づくり」を目的とし、「健康」をテーマに開催されると伺っております。マーじゃんは(中略)、脳にたいへん良い刺激となり、老化防止にはもってこいのゲームと言われています。この機会を通じて、一層地域の皆様同士の絆と交流を深めていただきたいと思います。

**〈挨拶要旨〉 千代田区長 石川雅巳**  
第二回千代田区いきいき健康マーじゃん交流祭が、このように沢山の元気な区民の皆さま方が集い、盛大に開催されますことを心から嬉しく思っております。本交流祭の前身で、田邊会長が主催して行ってきた、「敬老マーじゃん大会」から、私は毎年拝見しており、皆さん方の若々しいお姿を拝見するたびに、そのパワーをいただいていた一人であり、いつも楽しみにしていたところでございます。こころした中、社会福祉協議会での健康マーじゃん教室の成果と区民敬老マーじゃんを合わせ、発展・充実したイベントとして、昨年からの交流祭を開催しているものです。

**〈挨拶要旨〉 会長 田邊恵三**  
私たちは、予てより、人は「体の健康」と「頭脳の健康」がバランス良く維持されることが大切であり、そのためには「頭を楽しく使う・考える力をつける・ふれあいの輪を広げる」ことを日常的に、継続的に取り組んでいくことが、重要と考えてきました。この交流祭もこころした観点に立ち、昨年から実施したものです。健康マーじゃん交流祭が、高齢者の「健やかな幸せを創造する」健幸マーじゃん(健康で幸せ)として、高齢者ふれあい・交流の新たなステージとなるようさらに充実させてまいりたいと考えています。